

令和7年度

松陰高等学校(通信制)
学校評価

丸亀校・高松校

令和8年3月31日

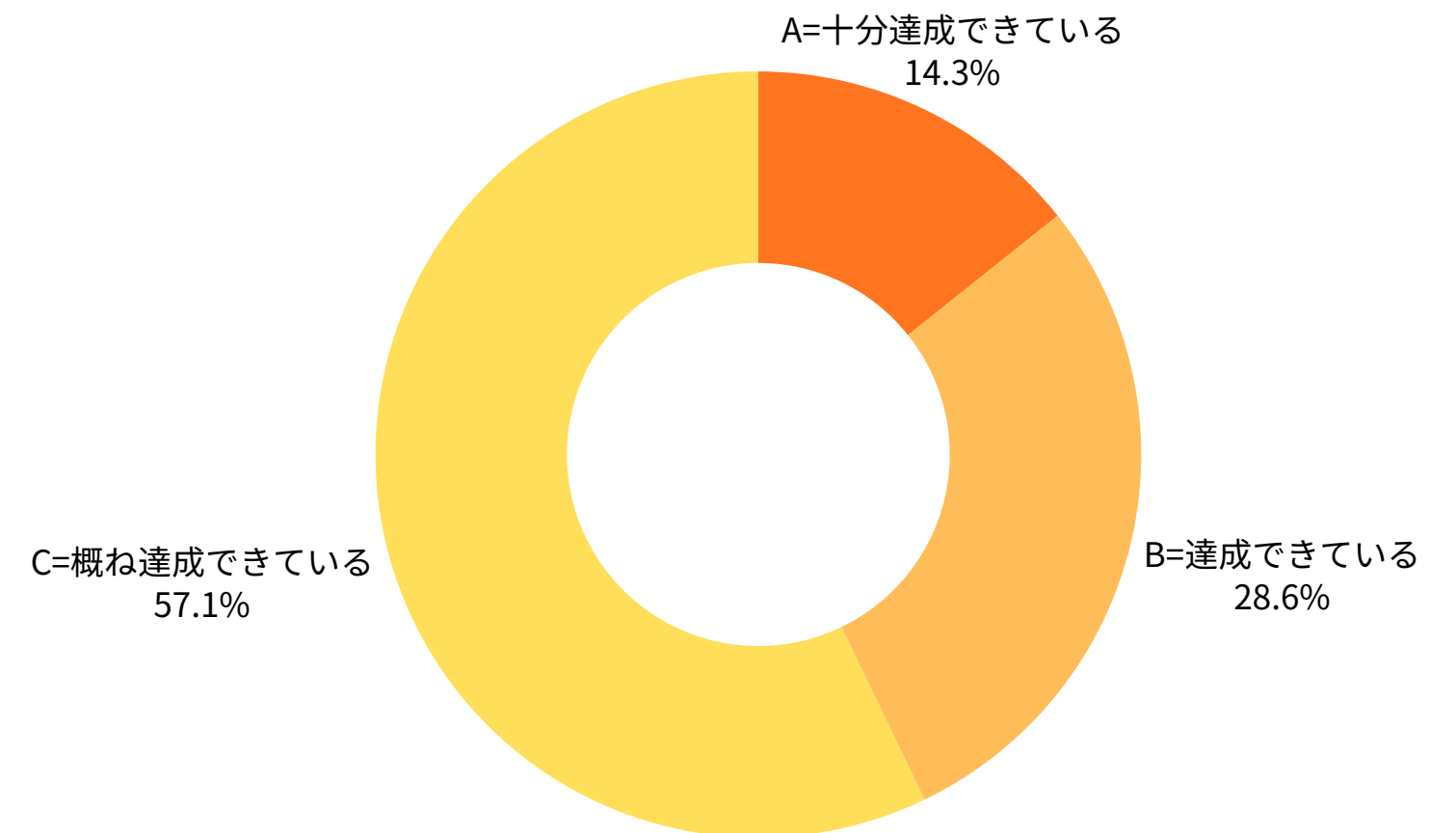
…………… [重点項目]生徒一人ひとりの継続的な学習の習慣化と学力の向上 ……………

重点目標

- スクリーニング・レポート作成・テストへの個別指導の充実と教科内容の理解
- 学習状況の定期的確認と生徒・保護者への連絡
- 「学習の手引き」の有効な活用
- 個別面談の充実と進路実現へのサポート

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 三者面談を通して、学習状況の確認や進路指導、保護者との連携について達成できている。進路や普段の生活、保護者の思いについて時間をかけて話し合い、その後、職員間でも情報共有を行っている。また、どの職員も質問を受け付けられる体制を整え、生徒が質問しやすく、話しやすい環境づくりに努めている。
- 年間計画に基づき、計画的な学習ができている。
- 日々様々な生徒と接しながらも教員と職員それぞれが、ていねいな生徒・保護者対応を心がけて面談は充実させることができた。しかし、個別指導の充実の点では、全ての生徒に行えたわけではない。次年度も心新たに、さらに生徒の学習と学力の向上を目指し、対応を模索していく必要があると考える。
- 三者面談等を定期的に行い、学習状況を生徒・保護者へ伝えることができている。
- レポートは個別に対応できているが、その内容が定着するのが難しい。
- 登校頻度が著しく少ない生徒には電話連絡を本人、保護者に対して行っている。
- 三者面談は年2回、個別で面接対策も行っている。
- 生徒、一人ひとりの学力向上、基礎知識の定着。学習状況の確認など生徒・保護者との関係性は良好である。
- 教科書を読み解く力が弱い生徒に対して、指導がなかなかできなかった点がある。



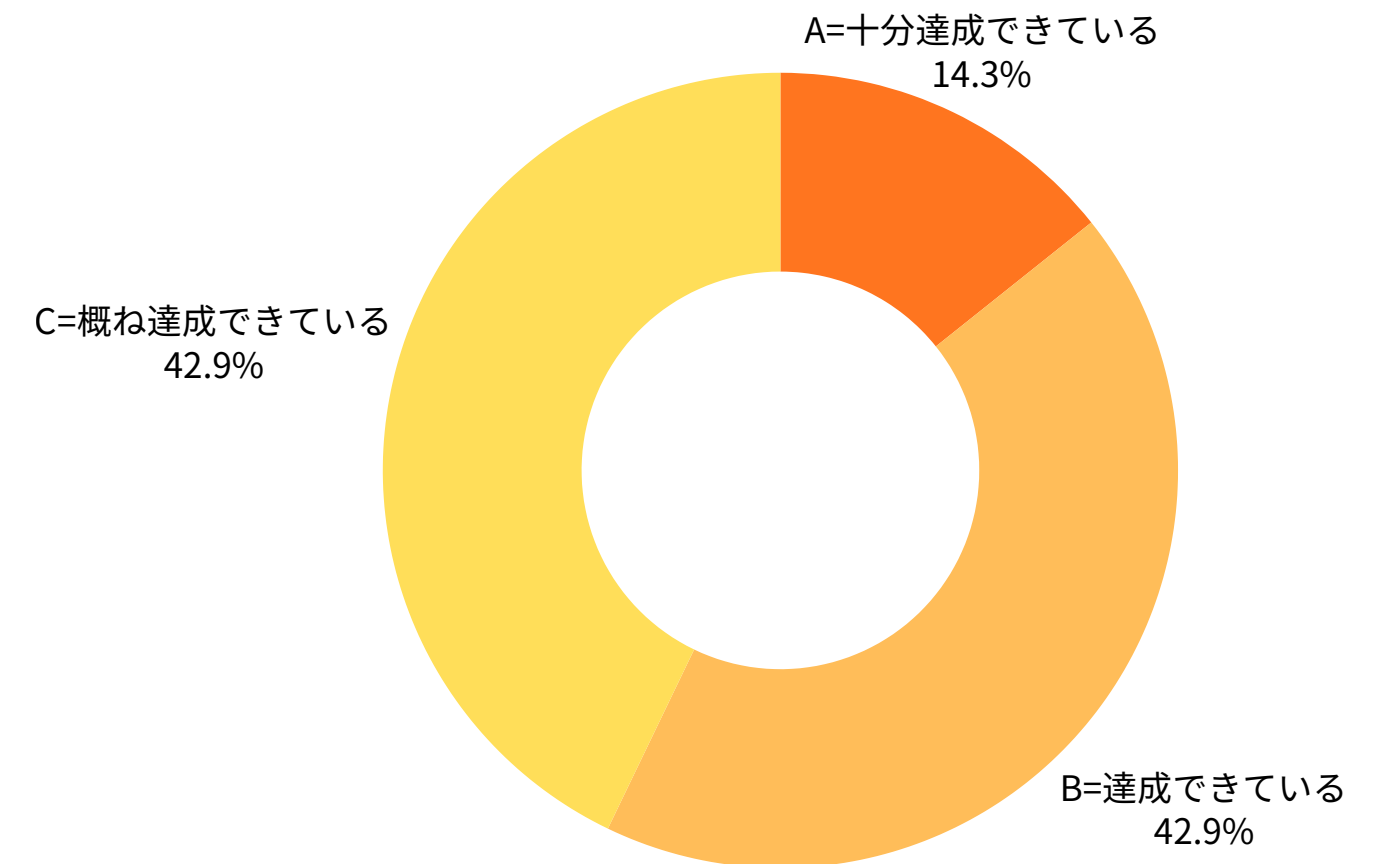
..... [重点項目] 望ましい職業観の育成

重点目標

- 一人ひとりへのきめ細やかな進路指導の充実
- 進路ガイダンス・個別面談の質の向上

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 生徒が進みたい学校や、就職先など前項目で記載した通り三者面談を通じて行っている。それ以外の時間でも生徒との会話は大切にしてい、変化などあれば共有している。また進路ガイダンス・就職ガイダンスなど外部の学校、職場の方に来ていただき個別に話を聞ける場所などを提供し、進路だけではなくこれから先の自分のやっていきたいことなどをイメージできる環境はあると思われる。
- 関係機関との連携のもと計画的に進められている。
- 年に数回の進路ガイダンスや職業ガイダンスを通し、進路指導の充実に努めることができた。次年度もさらに内容を吟味しながら継続していきたい。
- 進路説明会、就職説明会を行ったり、進路希望者の募集要項を個別に確認したりできている。また、一般的な夏休み期間にも面接対策をきめ細かく行うことができている。
- 個別で面接対策や高卒求人の見方などを教えている。
- 学校や企業の方々に学校に来ていただき、合同進路説明会などを行い、進路を決めるきっかけづくりに力を入れている。
- 家庭での進路についての話がよりスムーズに進むように働きかける必要がある。しかし、各種ガイダンスを校内で行うなど積極的に取り組んでいる。
- 1年生から参加できる進路ガイダンス等があるため、早期に進路の意識付けができている。が、各自の振り返り（どの学校のどこがよかったのかなど）が弱く、進路選択時にうまく繋がりにくい印象がある。



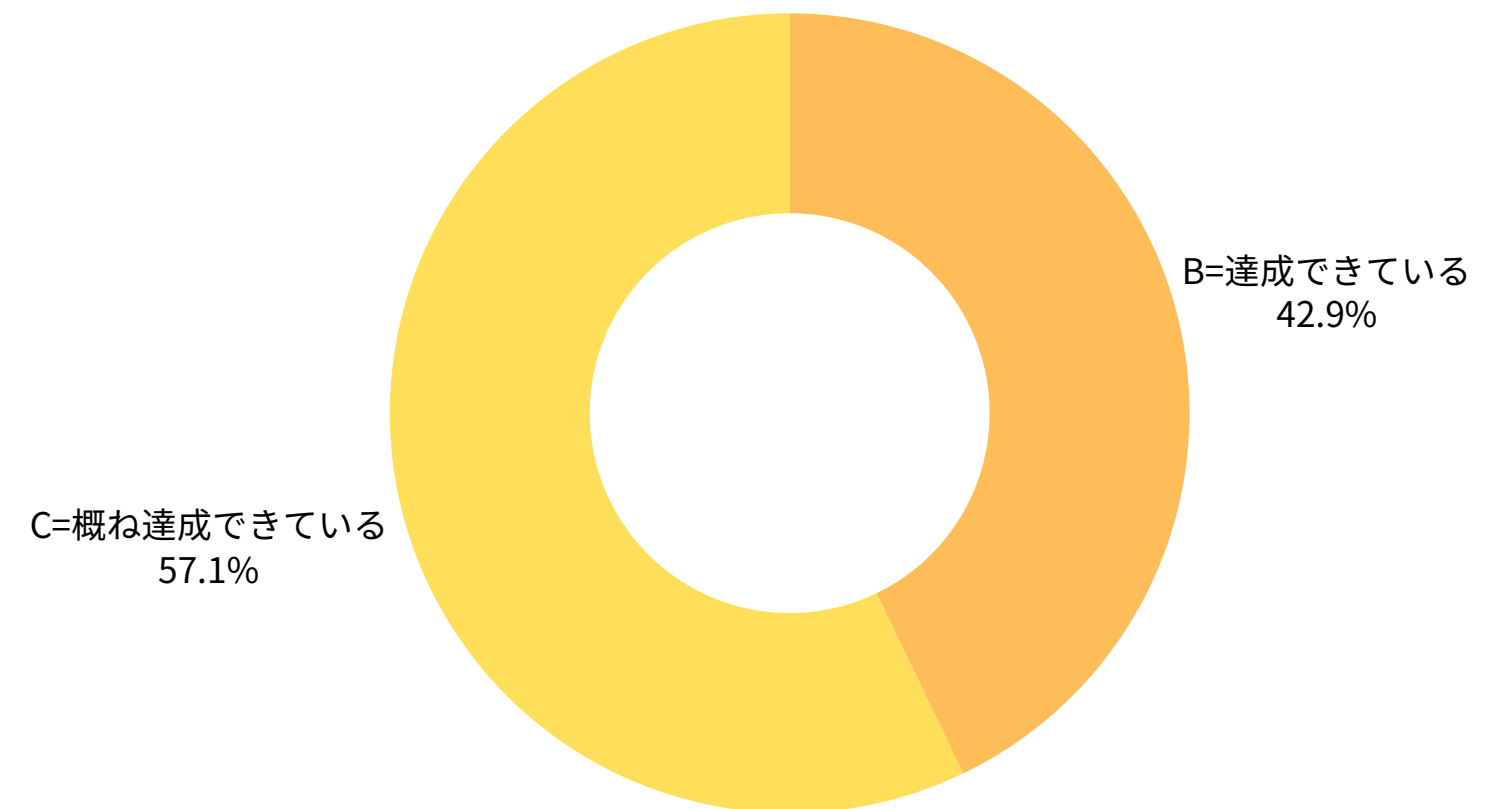
…… [重点項目] 基本的な生活習慣と規範意識の確立（学校生活の安全と安心） …

重点目標

- 社会性と公共心の育成、規範意識の高揚
- 教職員の共通理解による生徒指導体制の充実

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 社会性と公共心については不登校が続いていた生徒が多いため、なかなか「今すぐに」は難しい。ただ入学してしばらくしてからボランティア活動を定期的に行い、「誰かの役に立つこと」を行うことから、様々な人に感謝されることに少しずつ慣れてきているように思う。継続して行っていくことが必要。職員間の共通理解については毎日朝にミーティングを行い情報を共有し指導するようにしている。
- 生徒の多様化が進んでいるので、個に応じた指導を更に進めたい。
- 全職員で生徒情報を日々共有しながら行えた。次年度もこの体制は継続していきたい。
- 様々な授業や、外部の出前授業を通して社会性などを育成することができている。ただし、毎年の継続が課題。
- 様々な学校行事などにより、社会性は少しずつ育まれているように思う。規範意識については課題がある。普段のスクーリング等からもう少しルールを意識させる必要がある。
- ボランティアに積極的に参加するなど第三者からの評価が高くなってきている。社会性や公共心、規範意識を身に付ける外部との積極的な学校行事を行っている。
- 生徒たちがボランティア活動を通して様々な人と交流し、心身共に成長している様子がみられた。ボランティアの参加をする生徒に偏りがあるため、より幅広い生徒が対象となるもの・工夫が必要。



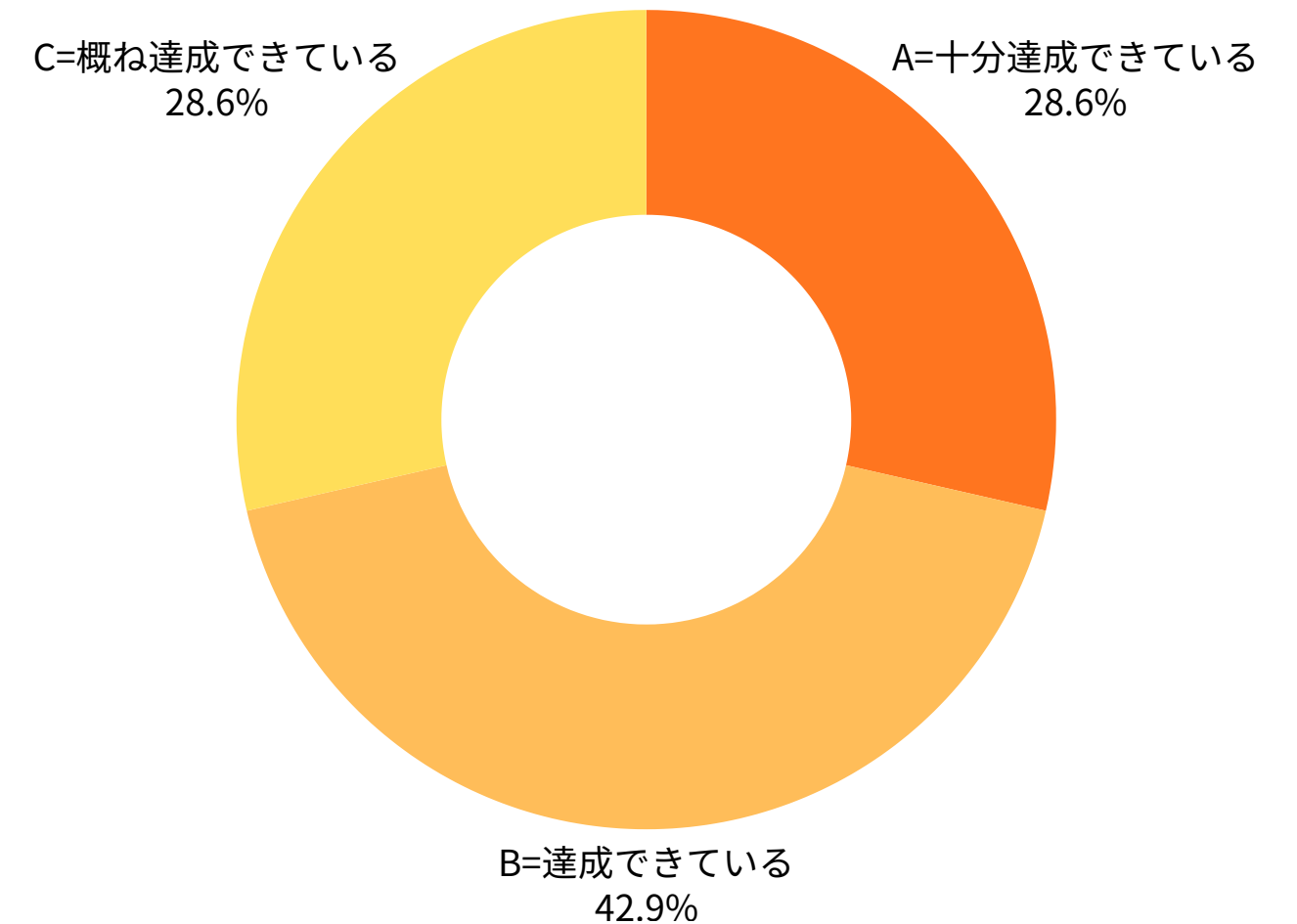
..... [重点項目] 健全な心身の育成

重点目標

- 心のケアを通して学校生活を援助する体制作り
- 教育相談体制の充実
- 校外学習や宿泊学習を通して心身の充実や道德教育の充実
- ボランティア活動を通しての奉仕精神の育成

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 生徒との会話は常に気を付けていて様子がいつもと違うときなどは職員間で共有し話をしていくようにしている。また全員が担任として話ができるようにしている。生徒の成長の一助として学校行事は充実させていて、ボランティア活動もその中に含まれる。
- 年々ボランティア活動に参加する生徒が増加している。計画的なボランティア活動をさらに進めたい。
- 様々な学校行事を行うことで、生徒が視野を広げ、進路の可能性も広がっていくのを感じることができた。次年度はさらに全生徒が参加できるものを増やし、一人ひとりの成長を促すことができるようにしたい。
- 臨床心理士の授業や、体験旅行、数多くのボランティア活動を行っている。
- 心についての出前授業は年1回は必ず行っている。学校行事が多いので、参加する生徒にとっては充実した内容だと思うが、どれも自由参加であるため、あまり行事に参加しない生徒への対応が課題である。ボランティア活動はかなり力を入れており、延参加人数もかなり多い。
- 定期的な地域ボランティアへの参加をし奉仕精神を培っている。また、メンタルヘルスの講習会など自分の心と向き合う機会を設けている。自由参加という点から在校生全員へ伝えきれてない部分は改善するべきである。
- 様々な特性を持った生徒たちが共存し、生徒一人ひとりが安心できる空間づくり



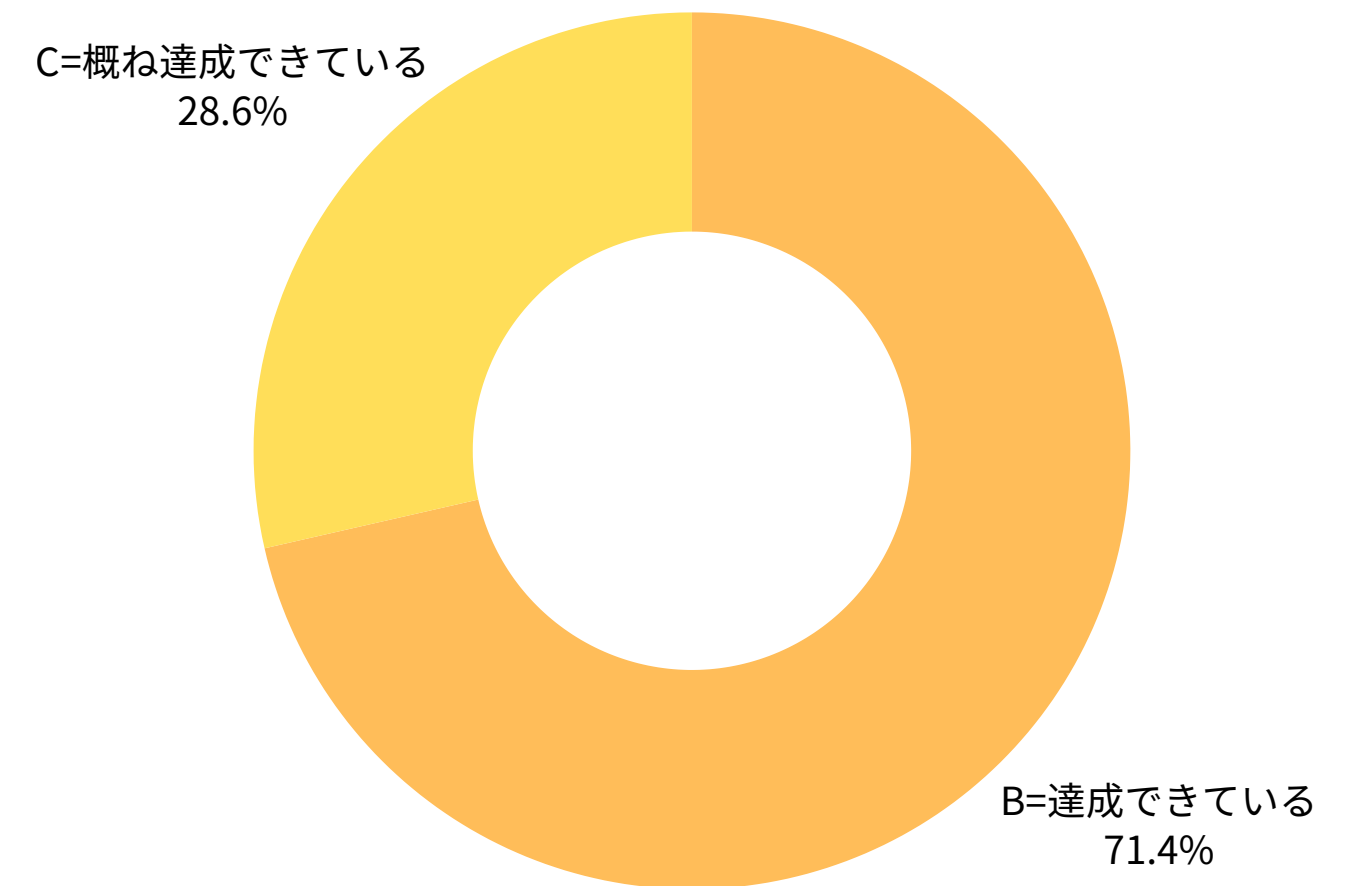
..... [重点項目] 保護者及び家庭との連携

重点目標

- 不登校、転編入生など多様な生徒への指導
- 生徒に関する諸問題の解決を図るための家庭との連携強化

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 学校として不登校、転編入生については面談の時から相手の思いに耳を傾けるようにしている。その際には保護者にも同席してもらい話をしている。また入学した際には三者面談も定期的に行っている。
- 不登校生徒の入学が増えているので、個別に指導する機会を積極的に設けたい。
- 日々情報共有しながら、進めることができた。次年度も気を引き締めて取り組んでいきたい。
- 本人、保護者に細かく連絡を取ることができている。連絡を取る回数が妥当であるかどうか再考する必要がある。
- 登校頻度が少ない生徒に関しては、本人、保護者と連絡を取っている。転編入生はこれまでの履修状況を考慮し、柔軟に対応している。何か問題があれば、保護者と情報を共有し、解決のために動いている。
- 生徒・保護者・職員で連携をしながら取り組むことができている。登校の行き渋りに対して待つことで自ら動くきっかけを作っている。
- 多くの転編入生が入学しており、それぞれの状況に応じた対応や指導を行ってきた。今後も個々の状況に応じた対応、指導をしていくことが課題である。また、様々な課題を抱えている生徒に対しては保護者と密な連携が必要。



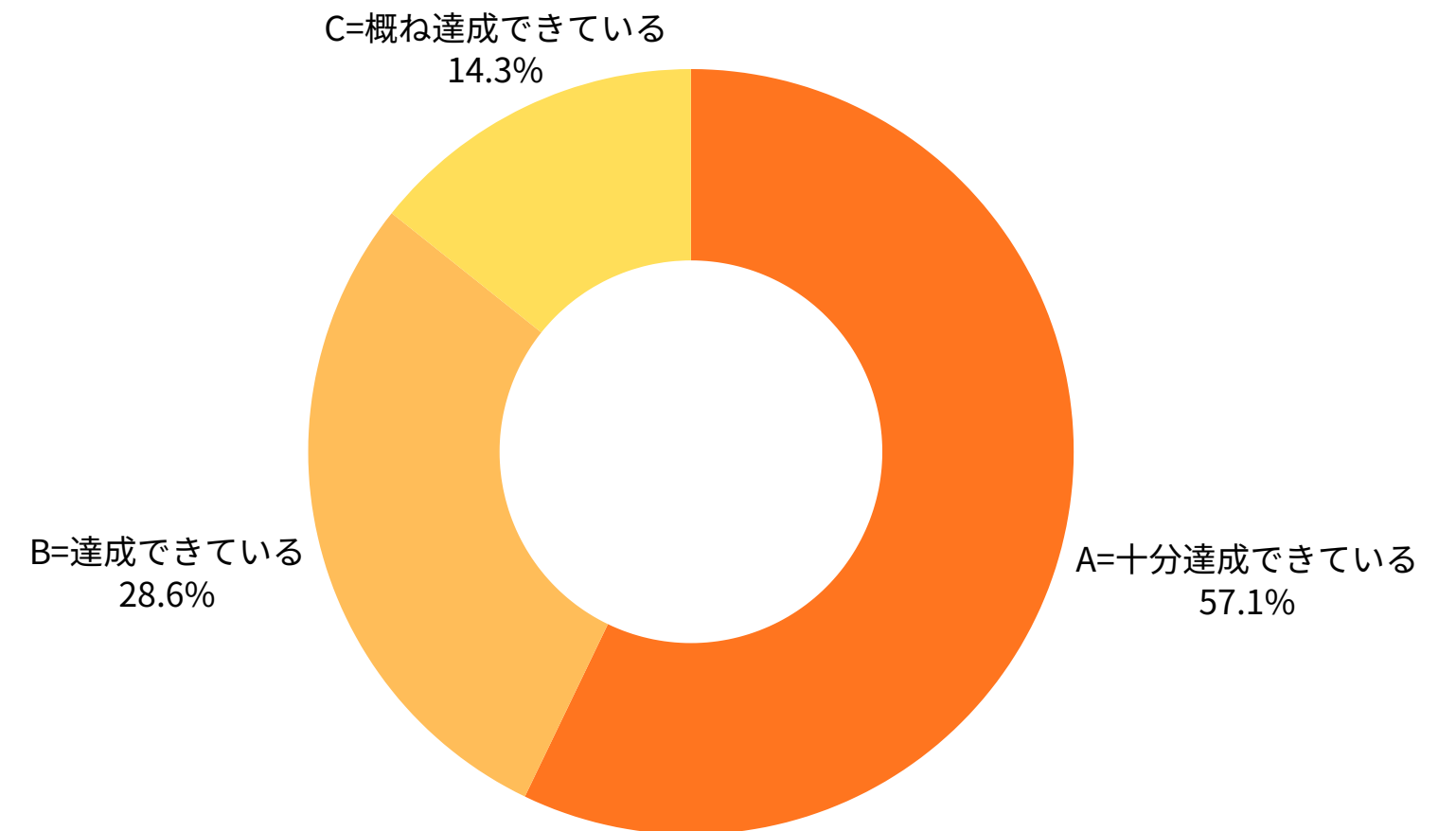
..... [重点項目] 校外活動への積極的な参加

重点目標

- 自然や地域との触れ合いを図るための企画内容の検討
- 特別教育活動への自主的参加奨励
- ボランティア活動への積極的な参加奨励

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 「自然や地域との触れ合いを図るための企画内容の検討」「特別教育活動への自主的参加奨励」「ボランティア活動への積極的な参加奨励」全てに関して年間80程度の行事を準備しているが、ここ数年の多様な生徒に対してすべて対応できているわけではない。
- 年間を通したボランティア活動が進められており、生徒の参加も増加している。保護者への広報を進めたい
- 学校行事の1つとして、様々なボランティア等の機会を設けることができた。次年度はよりたくさんの生徒が参加しやすいものを企画していきたい。
- 毎年、多くの学校行事を通して達成できている。
- 様々な学校行事を行っており、特に自然体験に力を入れている。ボランティア活動にも積極的に参加している生徒も多い。
- マリンスポーツ・ラフティング・カート・サバイバルゲームなど自然の中でのアクティビティを多く取り入れている。全ての学校行事を自由参加にすることで自主性を育てることができている。
- ボランティアでは多くの人の前で話したり、活動したりすることが多くなり、生徒たち自身の自信に繋がったと思う。これからは、ボランティアの事前学習や事後学習を行い、さらに自分ごととして考えられるようにしていきたい。



..... [評価項目] 教務

具体的目標

- 生徒一人ひとりが各々の目標を達成できるよう、学校の運営に取り組む。
- 基礎学力を定着させ、単位 修得に向けての学習の支援 を図る。

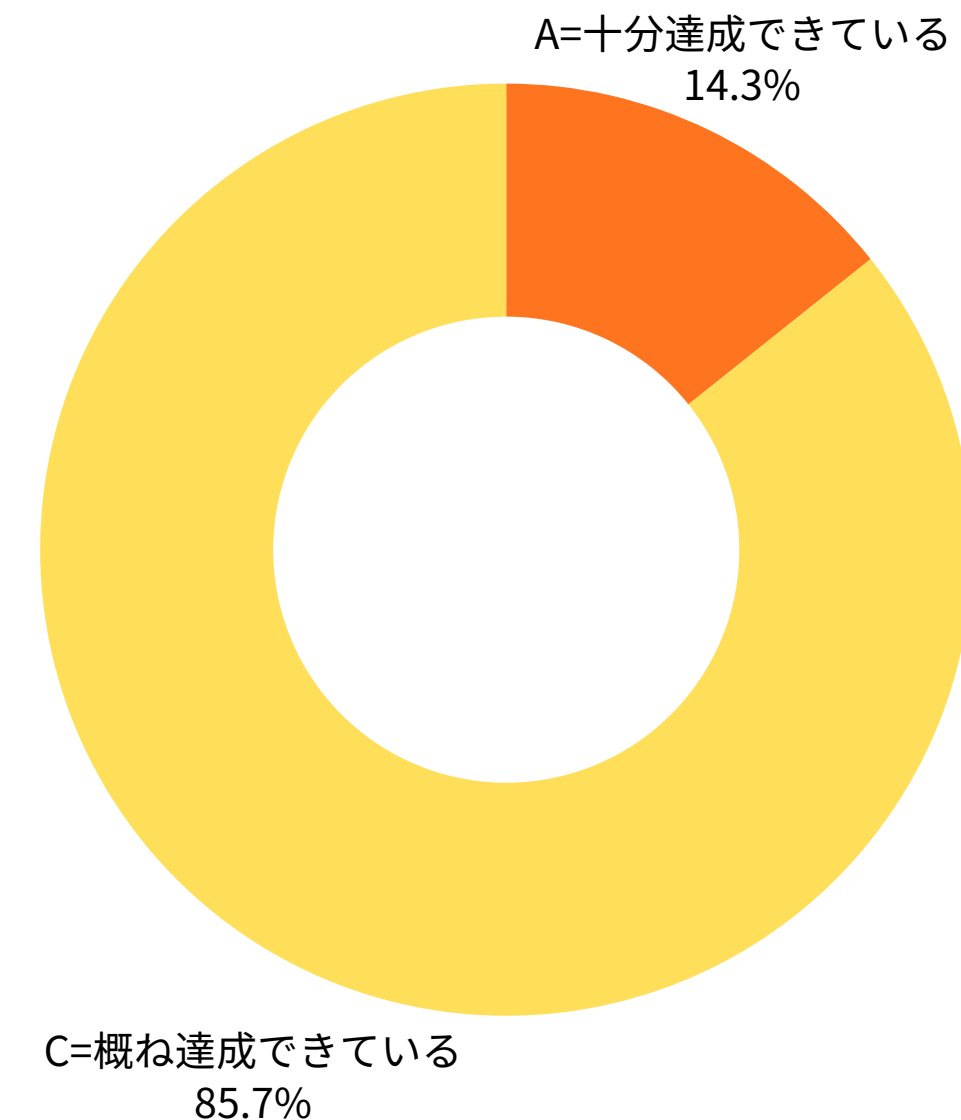
具体的方策

- 教科の年間指導計画を作成し、教科教員間の指導の連携と充実を図る。
- 「学習の手引き」の構成等を検討し、正確で分かり易い内容にする。
- スクーリングや校外学習を含む年間指導計画を作成し、生徒が積極的に参加できるようにする。
- レポート・スクーリングの状況を定期的に報告し、無理なく学習できる環境を整える。
- テストに向けた勉強の支援を行う。
- 生徒の能力・進路に応じた科目が履修できるような履修科目の設定を考える。
- 支援システムの効率的な処理ができるようシステムの構築を図る。
- 家庭との定期的な連絡を通して、生徒の学習状況の把握に努める。
- 教科担当によるレポートの添削を充実させ、生徒の教科内容の理解を図る。

..... [評価項目] 教務

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- そもそも不登校などにより「中学校卒業程度の学力」がない生徒がほとんど。授業云々ではなく、まず「学校」に対する負の意識を除くことが必要。そのために教科担当の先生方は身の回りのことや、これから大切なことなどから授業を組み立てている。それに並行してさかのぼり学習を行っていくことが必要。
- 年々生徒の学習に取り組む意欲が向上している。スクーリング授業のレベルアップを図りたい。
- 生徒の教科内容の理解は難しいこともあるが、次年度も引き続き生徒それぞれが学力を定着することができるよう、工夫したい。
- 履修は柔軟に対応している。単位修得のために、個人に合わせたヒントなどを活用し指導している。学力の定着が課題。教科担当が1人ずつのため、教科の年間指導計画は作成できていない。
- レポート・スクーリングの状況を定期的に確認し、保護者も不安を少なく、生徒は無理なく学習できる環境を整えている。生徒の能力・進路に応じた科目が履修できるような履修科目の設定を考えている。スクーリング時やその他の時間で自由に登校し学習へ取り組むことができるようにしている。
- 学習習慣をつけるところから必要な生徒もあり、生徒自身が進度や理解を把握できるような仕組みを工夫が必要。



..... [評価項目] 進路

具体的目標

- 生徒の進路実現のため、個に応じた学習計画を立て、前向きな姿勢で学習に取り組めるようにする。
- 進路における情報収集を図る。

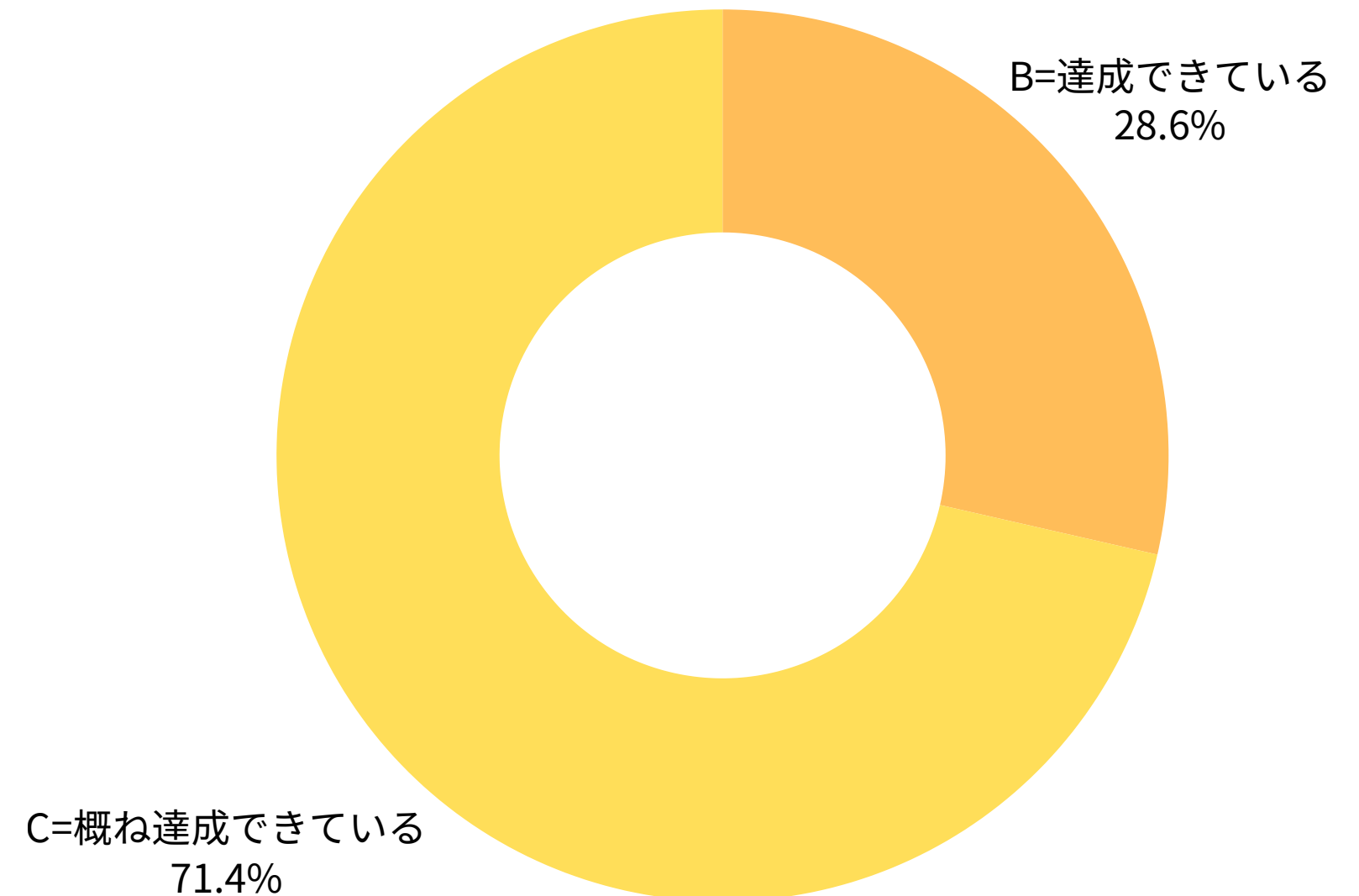
具体的方策

- 自分の興味・関心に気付かせ、それを踏まえて進路の方向性を考えていくようにする。
- 保護者との連携を深め、生徒の進路に関して三者が共有できる環境を整える。
- 進路行事を提供し、自己の進路を考える機会を与える。
- 学年に応じて段階的な進路指導の徹底を図る。
- 個々の生徒の進路相談を充実させるため、進路関係の情報収集、提供に努める。

..... [評価項目] 進路

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 定期的に進路ガイダンス（就職・進学）を行っていて、それがきっかけでオープンキャンパスへ参加できた生徒もいる。
- 校内進路指導説明会が充実しており、生徒の進路意識の向上が見られる。
- 生徒情報を共有しながら、進めることができた。次年度もそれぞれがより良い方へ進めるよう進路相談を引き続き充実させていきたい。
- 進路のきっかけづくりとして、合同進路説明会を行っている。また、早い段階からオープンキャンパスに行くよう促したり、学校行事で実際に様々な学校に訪問したりもしている。なかなか進路を考えることができない生徒に対しての対応が課題。
- 生徒の進路実現のため、個に応じた学習計画を立て、前向きな姿勢で学習に取り組めるようにする。保護者と生徒が話をできるように声掛けを行っている。
- 学校で実施している進路ガイダンスに1年生の時から参加し、早い段階での意欲がある生徒が増えてきている。しかし、自ら調べて検討するまでができていない生徒が多々いるため、今後工夫が必要。



..... [評価項目]生活指導

具体的目標

- 学習する環境を整える。
- 公共マナーの向上と社会的規範の遵守を図る。
- 思いやりのある心の育成を図る

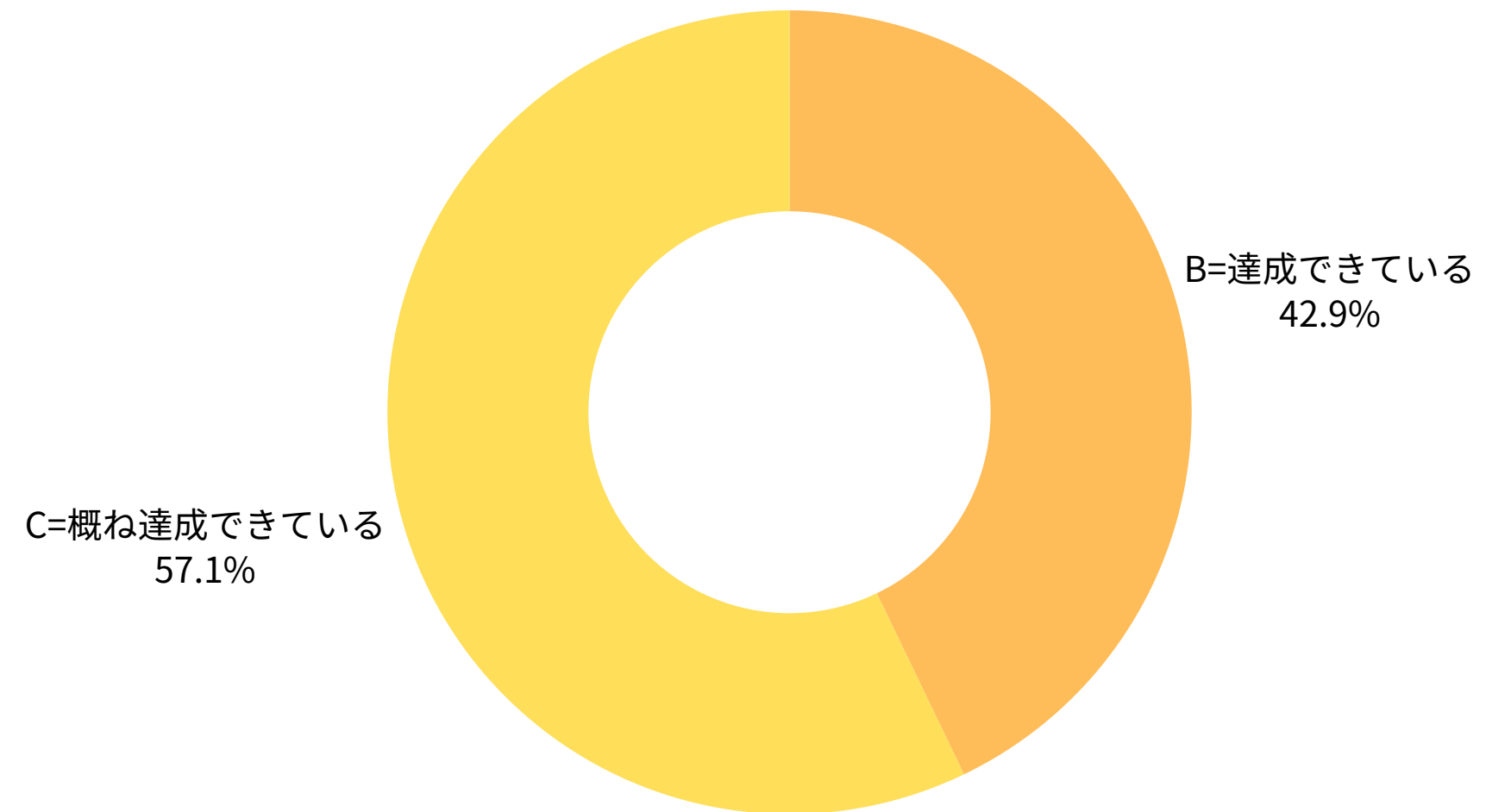
具体的方策

- 場をわきまえた行動がとれるように個々への指導を深めると同時に、自分の行動に責任が持てるような人間形成を目指す。
- スクーリング、講演、面談などを通して薬物の危険性、有害情報の提供、交通ルールや喫煙マナーなどを指導していく。
- 人の心の痛みが分かり、思いやりを持った行動がとれるようになる。

[評価項目]生活指導

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- スクーリング、講演、面談などを通して薬物の危険性、有害情報の提供、交通ルールや喫煙マナーなどを指導していく。⇒毎年弁護士を招いての法律講習会を行っている。また普段の授業でも担当教員が問題意識をもって生徒たちに伝えている。
- 年度当初オリエンテーションによる指導の徹底により、生徒の規範意識の向上が見られる。
- 様々な価値観を持つ生徒がいるなかで、生徒ファーストになってしまうところもあったが、全職員で情報共有することで解決することができた。次年度も気を引き締めて行っていきたい。
- 体育の授業を通して学習する機会を多く設けることができている。
- 体育のスクーリングで薬物の危険性や交通ルールについては指導している。SNSトラブルなどが起こった際に、話を聞きとり注意も適宜行っている。
- その場、その学年にふさわしい態度がとれるよう指導している。それぞれの変化を生徒・保護者と共有し自身の成長に気づくきっかけを作っている
- 様々な特性の生徒が同じ空間で学んでいくため、生徒同士がお互いに配慮し合う必要がある。



..... [評価項目] いじめ対策

具体的目標

- いじめ対策防止基本方針の策定を行い、学校の基本方針を明確にする。
- 教職員間の情報交換を密にし、いじめを未然に防ぐ環境づくりに努める。
- ネットにおける生徒の動向を把握し、情報モラルの指導を行う。
- 外部機関との連携を図る体制づくり

具体的方策

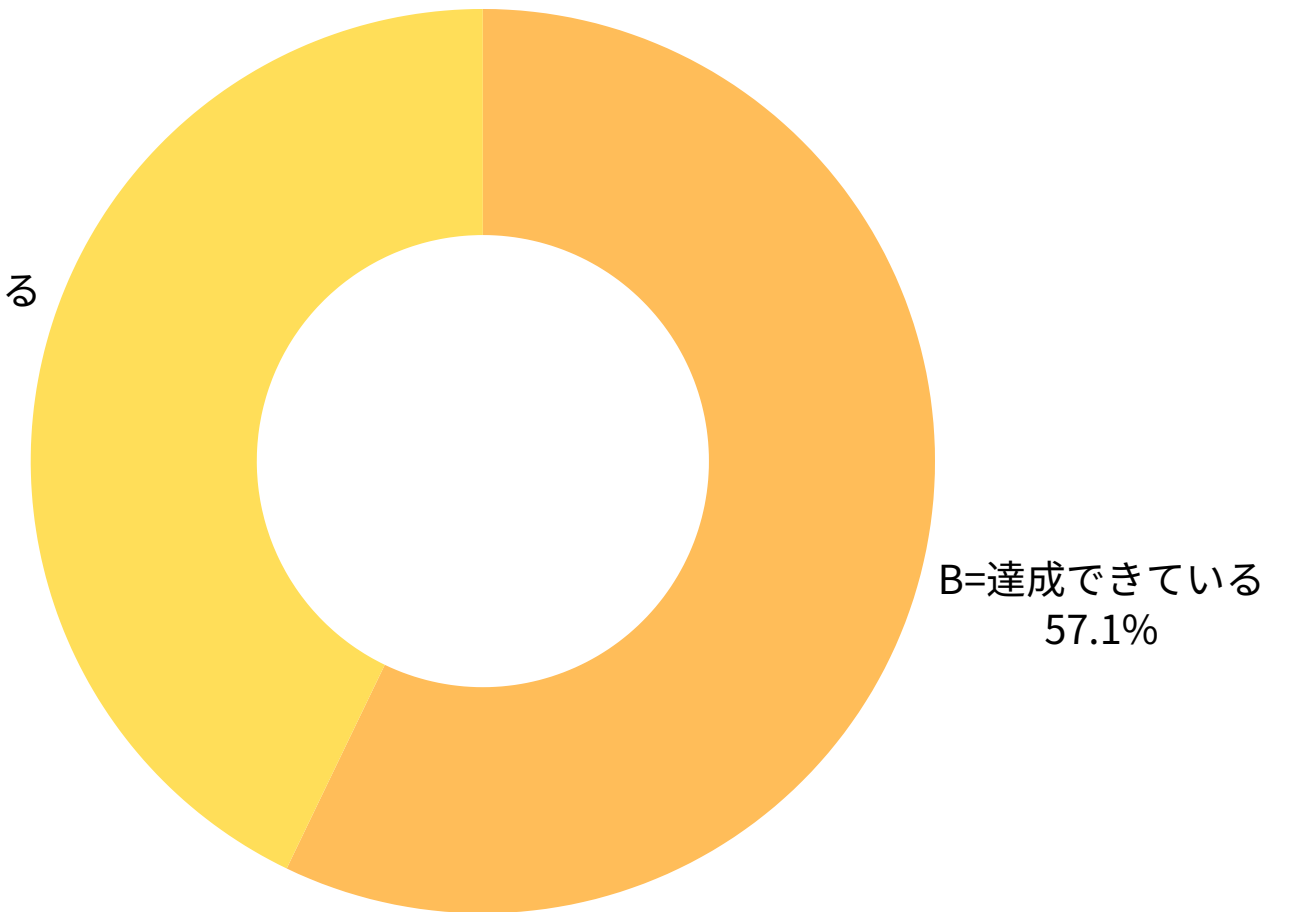
- 生徒同士が生き生きと、お互いの良さを認める雰囲気作りに努める。
- 生徒との信頼関係を構築し、生徒の心に寄り添った対応をする。
- 教職員の情報交換を密にし、生徒の理解に努める。
- インターネット等による書き込みを含んだ「いじめ」を未然に防ぐ対応をする。

..... [評価項目] いじめ対策

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- インターネット等による書き込みを含んだ「いじめ」を未然に防ぐ対応をする。⇒生徒との会話を増やして信頼関係の構築を行っている。生徒の方からLINEでこんなことがあると相談されることが多い。
- 日常の学校生活を通した継続的な指導の成果が見られる。
- まずは職員間、また家庭との連携を大切に対策防止に努めた。次年度も継続していきたい。
- 新年度のはじめに全学年にオリエンテーション等を通して指導を行うことができている。
- 生徒同士の交流の際、何か不具合があった場合は、教員が間に入ってできる限り迅速に対応するよう心掛けている。学校外で起こったことに関して、学校側が追及することは難しい。
- 教職員間の情報交換を密にし、いじめを未然に防ぐ環境づくりに努める。弁護士による法律講習会など各自が意識を変えるきっかけを作っている。
- SNSなどスタッフの目の届かない領域を鑑みて、インターネットリテラシー教育の充実が必要である。

C=概ね達成できている
42.9%



..... [評価項目]安全健康管理

具体的目標

- 心身の健康と自己管理能力の育成を図る。
- 教育相談の有効活用を図り生徒の悩みに対応できる体制作りを行う。

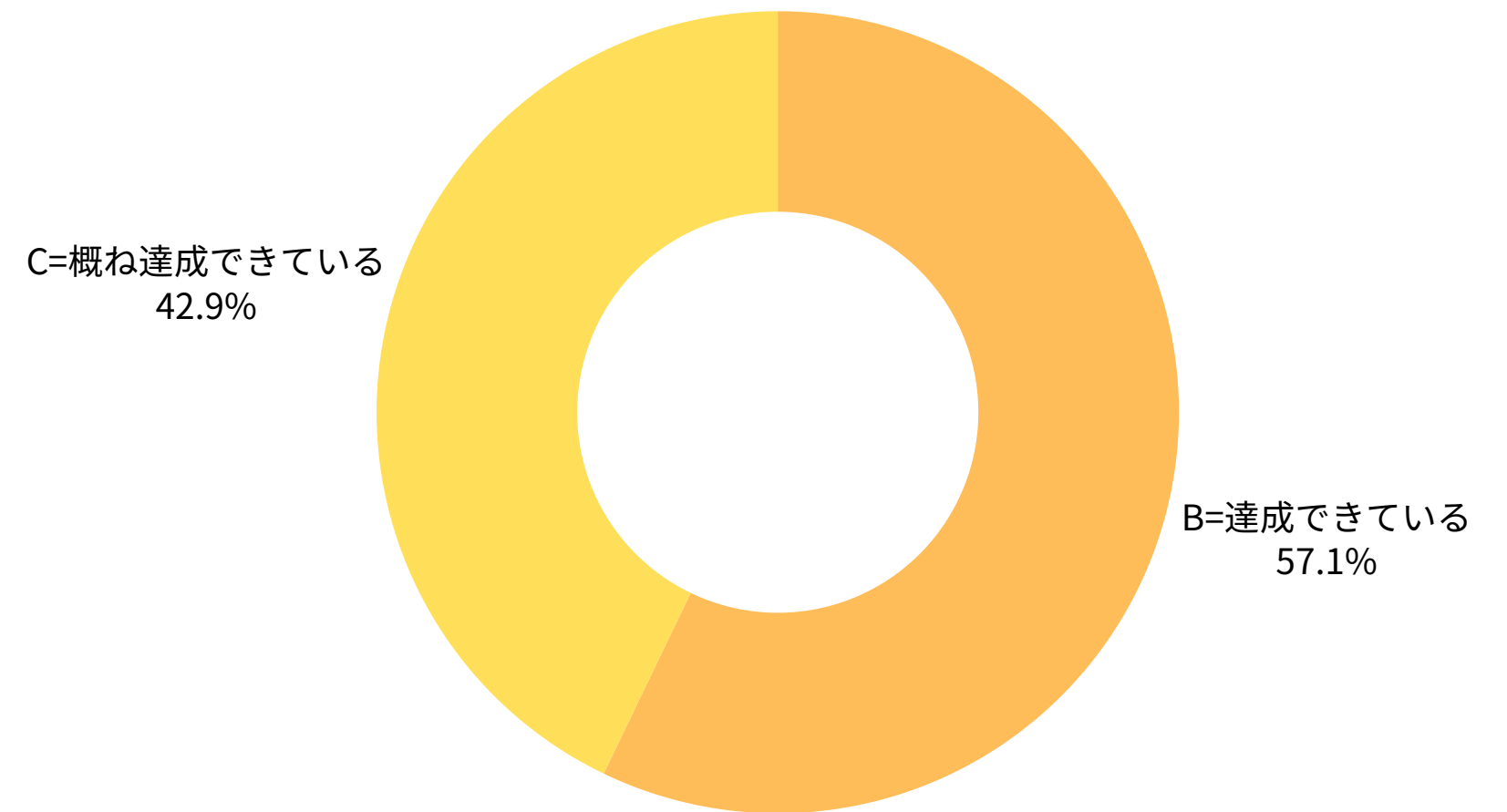
具体的方策

- 生徒の健康診断を実施し、個々の健康維持・安全衛生面について配慮していくことで、生徒が良好な学校生活が送れるように努める。
- 基本的生活習慣の確立を目指し、自己管理能力を高める。
- 不登校傾向にある生徒に対しては、家庭訪問を行いながら家庭との連携を図り、生徒が学校生活を送れるよう信頼関係の構築に努める。
- 不審者や緊急事態への対応の機能の充実を図る。
- 地域の関連機関との連携を深め、生徒理解に努めることで、生徒を取り巻く環境の改善を図る。
- 生徒の健全育成を図るため、社会のルールを守るよう指導する。

..... [評価項目] 安全健康管理

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 不登校傾向にある生徒に対しては、家庭訪問を行いながら家庭との連携を図り、生徒が学校生活を送れるよう信頼関係の構築に努める。⇒もともとが不登校経験のある生徒がほとんど。保護者との連携も深めているが引き続き行っていきたい。
- 計画的な三者面談実施による成果が見られる。
- 本人だけでなく、家庭と連携しながら行うことができた。次年度も継続して行きたい。
- 健康診断は毎年行うよう、保護者に連絡している。自由登校のため、生活リズムが崩れがちな生徒も一定数いる。保護者からの要望があれば、必ず朝に登校するように個別でプログラムを作るなど対応している。なかなか来れていない家庭へは家庭訪問も順次行っている。そこから定期的な登校につなげることが今後の課題である。
- 心身の健康と自己管理能力の育成を図るため保護者と定期的な３者面談で意識することを確認している。
- 登校が少ない生徒や家庭に度々連絡をとり、生徒の様子を聞きながら登校を促している。



..... [評価項目] 生徒募集

具体的目標

- 生徒募集のための広報に努める。
- 地域との連携を深めながら
- 本校の教育目標を理解してもらう。

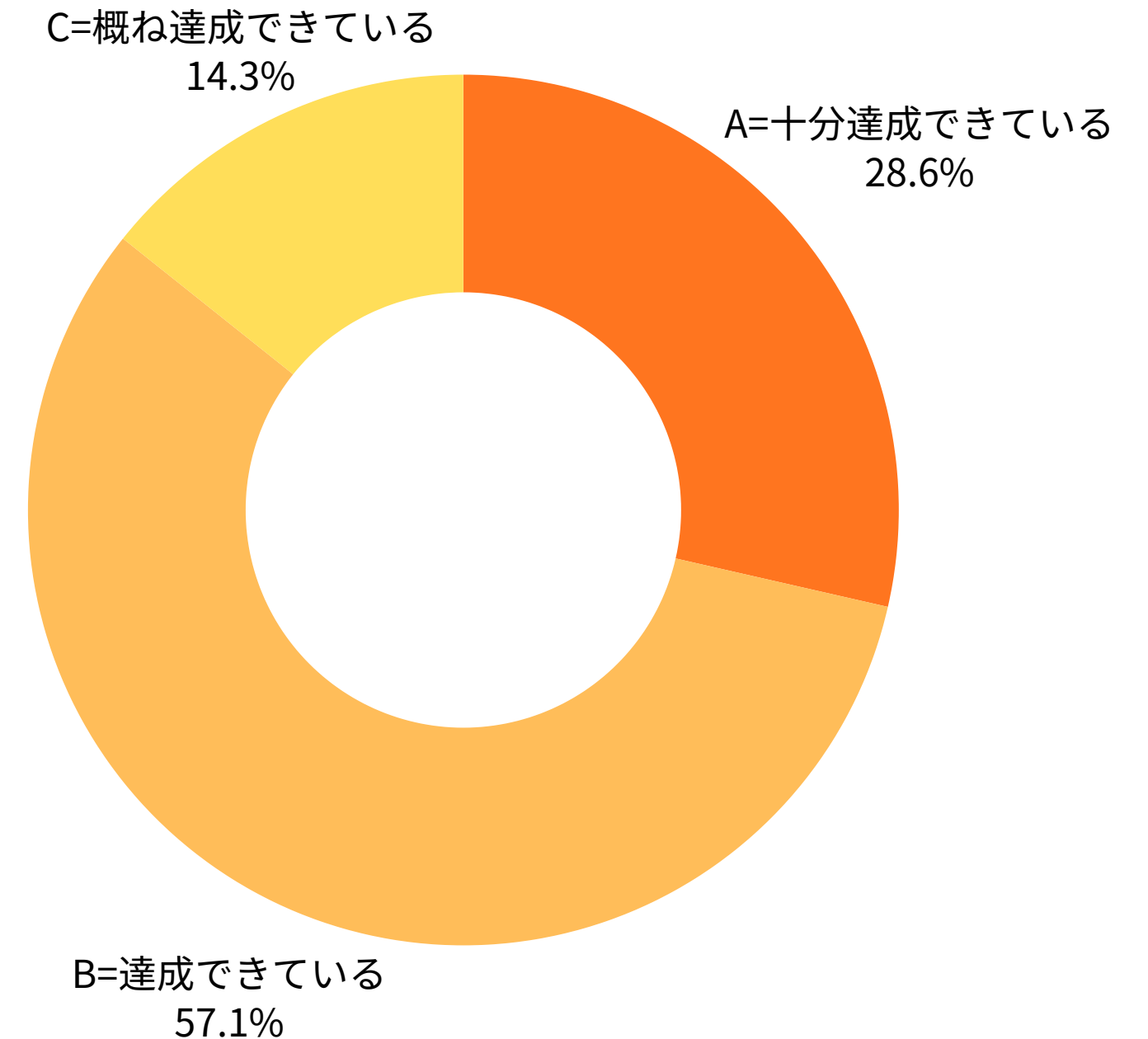
具体的方策

- 学校案内パンフレット、ホームページの内容を工夫・充実させる。
- 地域・他校との連携を深め、生徒募集の効果的な広報に工夫・努力する。また、関係する学校・機関の訪問を積極的に行い、生徒の理解に 努める。

[評価項目] 生徒募集

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 定期的な学校訪問を行い、学年主任との連携を深めるよう活動を継続していく。行事が終わればすぐにHPに内容をアップして併せて継続していく。
- 学校パンフレットの内容に卒業生の声、保護者の声を掲載することにより、学校の特色をより発信することができている。
- 職員一丸となり行えた。次年度も継続していきたい。
- 今後は、新たな広報の方法を模索する必要がある。
- パンフレットは毎年作り変え、興味を持ってもらえるように工夫している。HPやインスタなども行事ごとに更新している。中学校への訪問は積極的に行っており（大小含めると年5回以上）、お互いに連携が取れている。
- ホームページ、SNSなど広報活動に力を入れている。生徒の成長を保護者や中学校の先生に報告することができている。
- パンフレットやホームページ、SNSの活用、更新をしている。各学校や機関と連絡を密にとり、生徒の進路選びの一つになるよう努めている。



..... [評価項目] 教科

具体的目標

- 個々の生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践
- 教科の特性を生かした指導
- 担当教科との連携による生徒の指導と把握

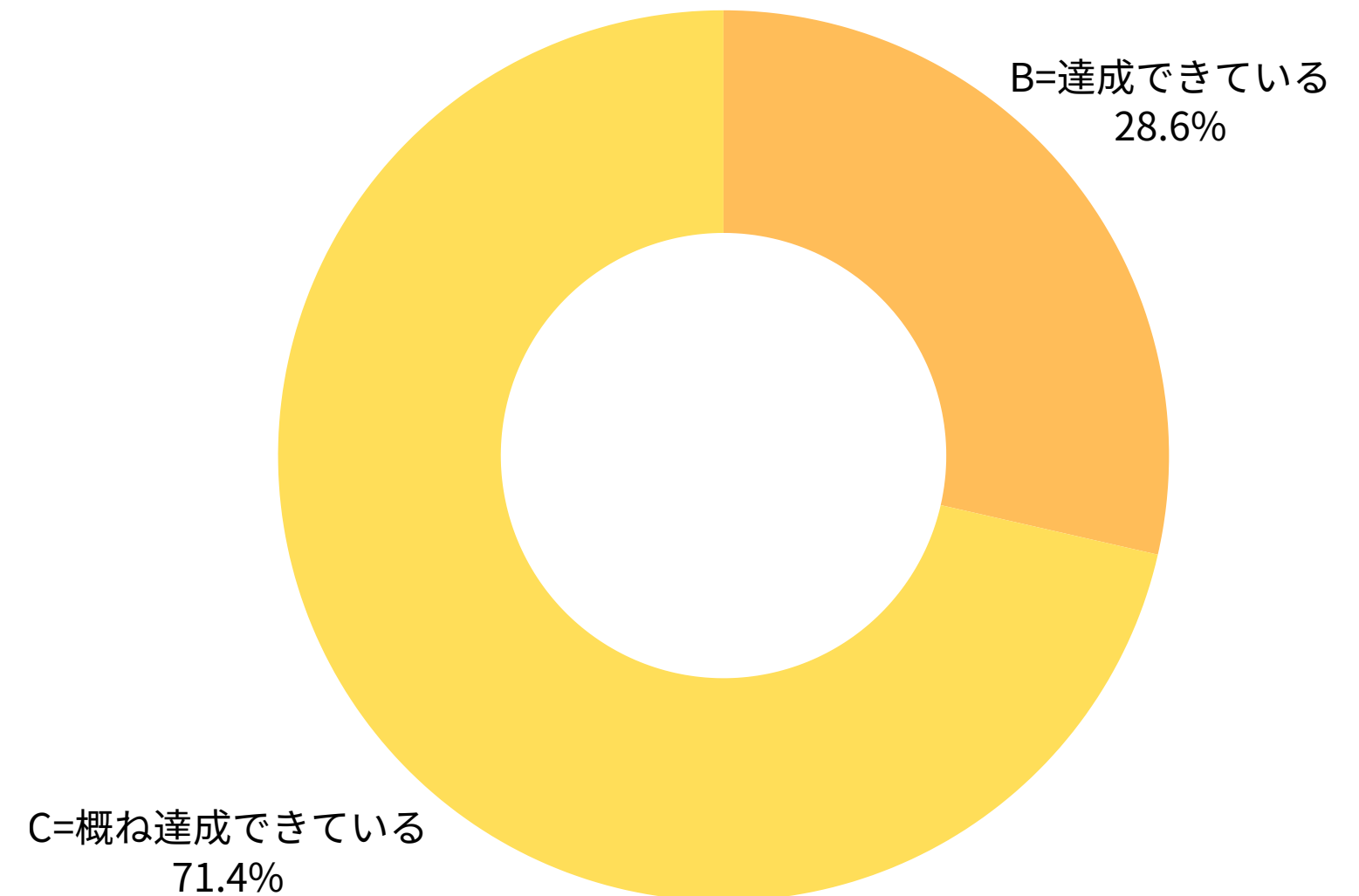
具体的方策

- 指導内容を振り返り、次のスクーリングに生かす。
- 基礎学力の定着をはかり、生徒ができることの喜びを感じさせる。
- 生徒一人ひとりの能力・実態に合わせた教材の提供を行う。
- 基本的生活習慣を身に付けさせ、計画的に学習させる。
- レポート指導や添削で生徒への理解をうながす。
- 生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践を図り、進路の実現を図る。

..... [評価項目] 教科

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 生徒の特性もありなかなか小・中学校のように「個」を極端に尊重する・配慮することはできないが能力・実態を考えた指導は担当教員は知恵を出して行っている。「基礎学力の定着」という言葉が何度も出てくるが、基礎学力については高等学校に至る過程で育まれていることが多く中学校までの過程で行われるべきことではないかと思う。そこができていないため、振り返り学習などの時間を取らないといけないしわ寄せが高等学校に来ているのではないかとと思われる。
- 教育機器の活用により、学習内容の理解を深めることができている。
- 職員それぞれに臨機応変に対応できていた。次年度も継続していきたい。
- 教科指導については、各々の教科に一任されているため、指導方法がそれぞれ異なっている。理科であれば、実験やその時期に合わせた内容を考え、スクーリングを行っている。計画的、継続的な学習が課題である。
- 苦手意識の強い科目も取組方を指導し自らの力で解けた達成感を得るようにしている。
- 能力差をあまり感じさせず、多くの生徒が取り組める教材を選ぶように努めた。



..... [評価項目] 1年生

具体的目標

- 基本的生活習慣の確立と学習活動の定着化
- 学習環境づくりの推進
- 多様な生徒への配慮

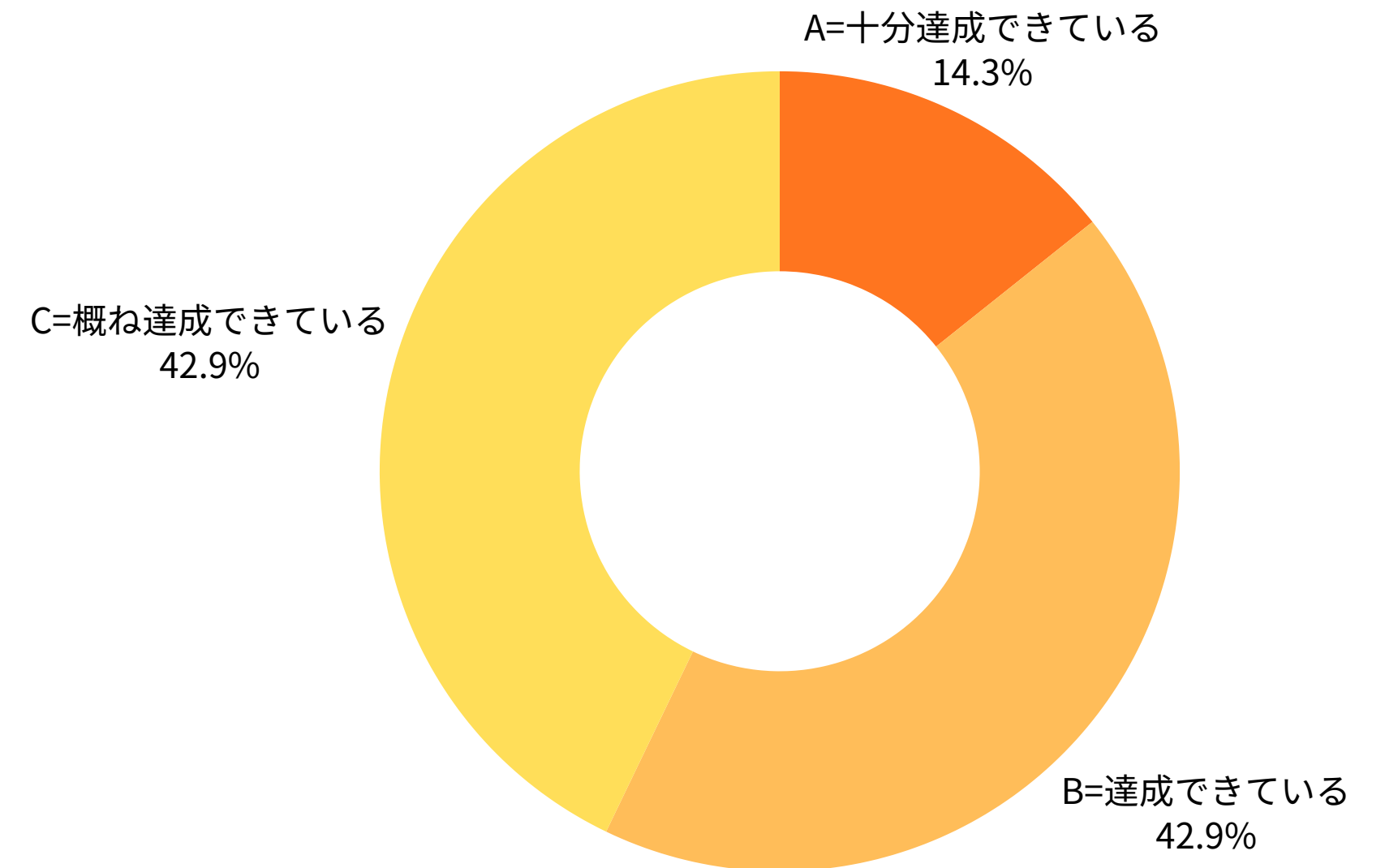
具体的方策

- 自己の進路目標を設定し、自分に向き合う姿勢を育成する。その中で自信を持たせるような環境づくりを目指す。
- 通信制のシステムの中で、個別指導をきめ細かく行う。
- 場をわきまえた行動がとれるような学習の環境づくりを施す。
- 体験学習や学校行事への積極的な参加を促す。
- 生徒の様々な状況を把握し、各生徒に適切に対処できるように心がける。

..... [評価項目] 1年生

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 丸亀校・高松校は常に「体験学習や学校行事への積極的な参加を促す。」との記載の通り体験学習を通して社会に出ていくための準備を行っている。「場をわきまえた行動がとれるような学習の環境づくりを施す。」とあるが自分がやらないといけないことに集中している生徒が多い。ここは継続して行っていきたい。逆に「場をわきまえた行動がとれるような学習の環境作りを施す。」ことをしないといけない学校ってどこなのか教えていただきたい。
- 年間を通した学校行事の実施により、生徒の参加率が向上している。
- きめ細かな個別指導の徹底は難しかったが、次年度も目標は高く持ち対策していきたい。
- 1年生はまず通信制の仕組みに慣れてもらうことを最優先で考えている。余裕が出てきた人には、学校行事やボランティア活動に参加を促している。個別にできる限り対応しているが、「きめ細かく」できているかは少し疑問が残る。
- 個々の生活スタイルの確立、学習スタイルの確立。安心して通える環境づくり、体験活動により自己肯定感を高める。
- 不安にしている生徒に積極的に話しかけて、少しでも慣れて通いやすい環境に努めている。



..... [評価項目] 2年生

具体的目標

- 学習の習慣化の定着による学力の向上
- 進路意識の向上を目指す。
- 学校行事への積極的参加

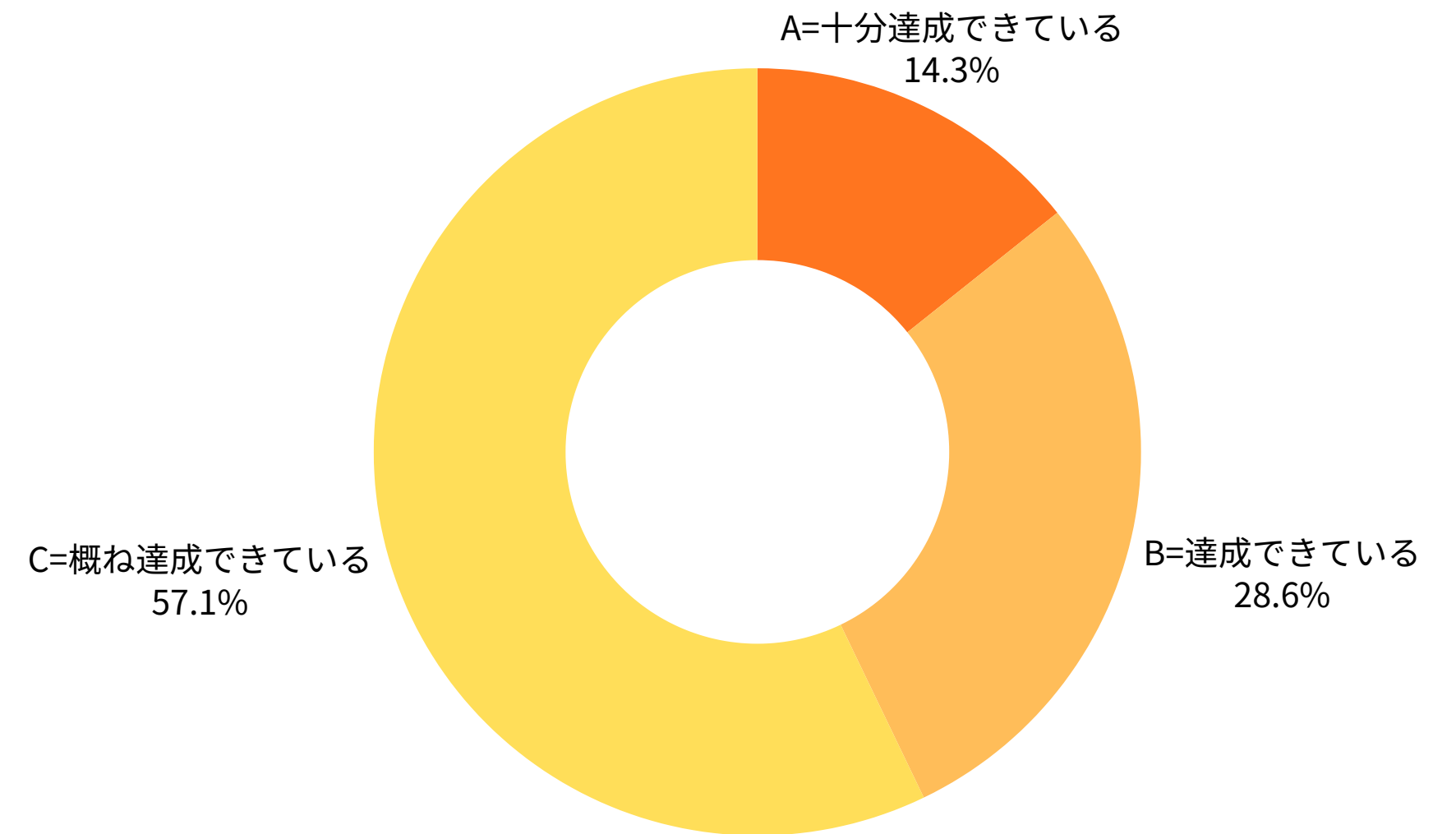
具体的方策

- 個別指導を通して生徒の自覚を促し、スクーリング・出席率・レポートの提出率の向上を目指し、学力の向上を図る。
- 悩みを抱えている生徒の情報把握・生徒理解に努め、適切な対応に心がける。
- 進路の情報収集に努め、進路目標を持たせる。
- 学校行事への参加を呼びかけ、友人との交流を図る。

..... [評価項目] 2年生

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 別にどの学年に対しても状況把握、生徒理解には努めているが2年生は中だるみの可能性もあり、注意を払っている。
- 年間スケジュール、月間スケジュールの充実により、出席率、提出率の向上が見られる。
- 3年での進路決めを念頭においた指導を心がけたが、全ての生徒に目標を持たせることまではできなかった。しかしそれぞれの生徒なりには成長がみられた。次年度もあきらめずに継続していきたい。
- 2年生はレポート、スクーリングをこなすことだけでなく、進学、就職を考えていくために、様々なこと（検定、ボランティア、アルバイト等々）に挑戦するように声掛けしている。
- 進路を見据えた動きが取れるように声掛けしていく必要がある。学習スタイルに慣れたことでゆとりができすぎないように行動できるようにする。学校全体を引っ張っていける学年にする。
- 学校に慣れ、学校内外で活発的に活動している生徒が増えてきた。進路関係の活動が増えたことで自身の現状を把握し、悩みを持ち始めた生徒も多いので、細やかな指導が必要である。



..... [評価項目] 3年生

具体的目標

- 単位取得の徹底と卒業への意識づけ
- 進路希望の実現
- スクーリングや校外学習への積極的な参加による学校生活における充実感の向上
- 学習意欲の持続・学力の向上
- 進路指導の充実

具体的方策

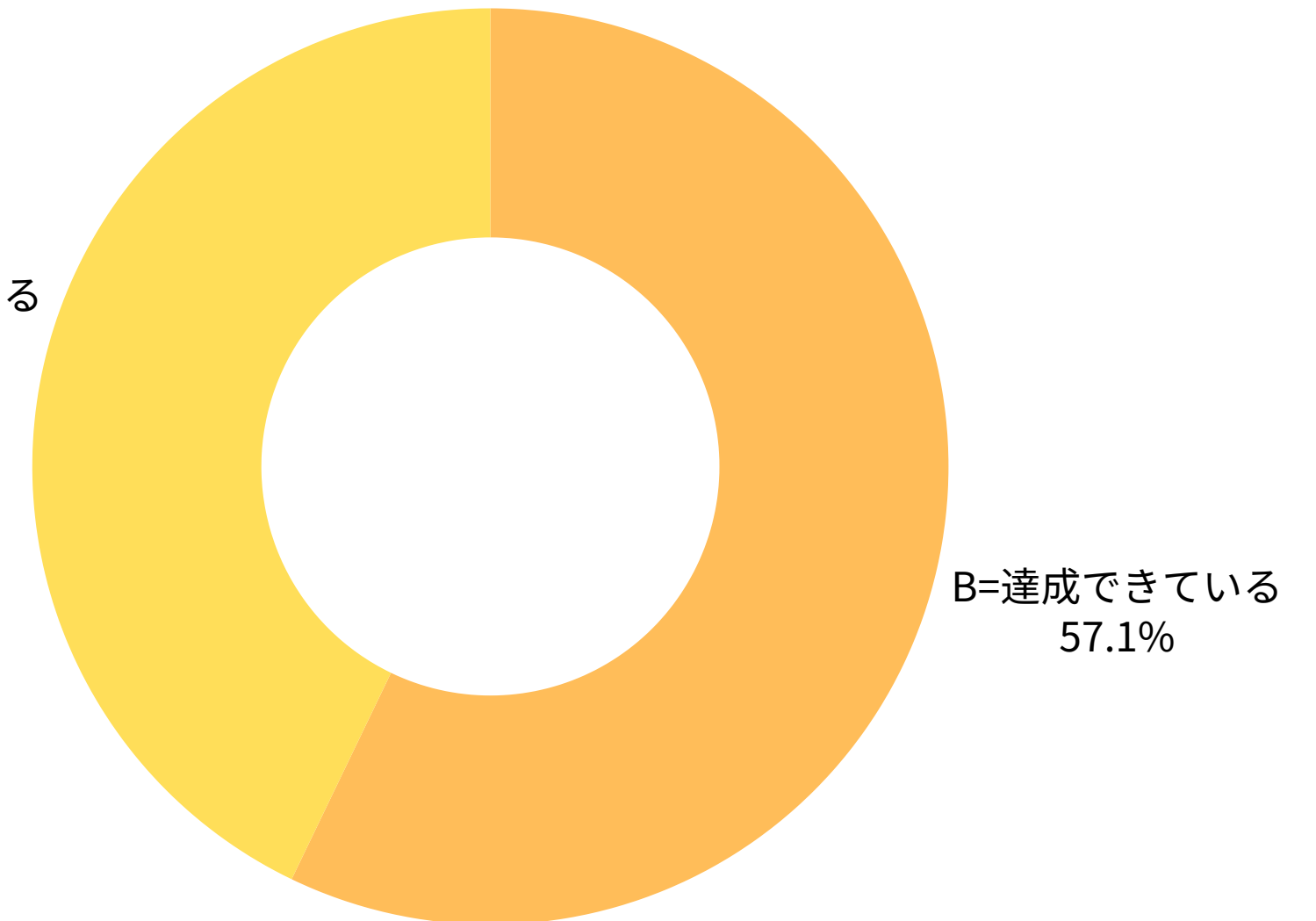
- スクーリングや面談を通じて学習指導の徹底を図り、単位取得を促し、卒業への意欲を高める。そのためにも、生徒や家庭との連絡を密にとり、三者の思いを共有する。
- 将来に向けての動機付けを行い、進路に対する意識を向上させる。
- 経験から学ぶ体験学習をはじめとした学校行事への参加を呼びかけ、地域と学校との一体感を味わわせる環境づくりに努める。
- 個別面談あるいは個人学習状況表の確認などで、生徒のレポート提出やスクーリングの参加状況を把握し、生徒の確実な卒業につなげる。
- 常勤・非常勤教員と連携し、生徒一人ひとりに応じた適切な学習・進路指導に努める。

..... [評価項目] 3年生

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 1・2年で体験学習を通して社会に出ていくための準備を行っていて、3年生はその集大成。転入生を含めたどの生徒に対しても進路について職員は彼らとよく話し合っている。
- 校内進路指導説明会の定期的な実施ができており、生徒の参加意識の向上が見られる。
- 社会に出ることを意識させる声掛けを行うことができていた。次年度も継続していきたい。
- 3年生は、学校での課題をなるべく早く終わらせ、進路に向けて動いていくように様々な場面で生徒、保護者に伝えている。卒業だけでなく、その後の進路を保証するためにも厳しめに指導している。
- 卒業し、それぞれの進路に向け動く意識づけをしていく。社会の一員である意識を各自が持ち行動することの大切さを身に付ける。生徒一人ひとりに応じた適切な学習・進路指導に努める。
- 生徒一人ひとりの進路実現のため、日々進路情報や進路指導に努めている。次年度も、継続したいと考える。

C=概ね達成できている
42.9%



..... [評価項目] 事務関係

具体的目標

- 生徒、保護者からの依頼文書等の対応を適切に行う。
- 関係機関との信頼関係の構築を図る。
- 学校業務が円滑に図れるよう心を配るようにする。

具体的方策

- 学割や定期、願い届出等に対しての処理を適切に行っていく。
- 関係機関との信頼関係を築きながら、必要となる文書の作成や生徒・保護者への配布などを適切に行うようにする。
- 学校業務を行う上での環境の整備に心がける。また、学校への問い合わせ等の外部との対応も的確に行うようにする。

[評価項目]事務関係

学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 届け出書類が出てくればすぐに対応するようにしている。どうしても発行までに時間はかかるものもあるが、状況は生徒保護者に説明して納得してもらっている。
- 年間を通じた三者面談の充実が進められており、協力的な保護者が増えている。
- 職員一丸となりできるだけ対応は行えたと感じる。しかしそれに甘んじることなく、引き続き気を引き締めて行っていきたい。
- すべての職員が担当する事務を責任もって行うことができている。生徒数の増加にともない、二重チェックが必要。
- 学割や願い届に関しては、依頼があればすぐに本校へと連絡している。レポートの丸付けや成績処理などの提出物が遅れがちであるため、そこが大きな課題である。
- 学校業務が円滑に図れるよう心を配るようにする。学校業務を行う上での環境の整備に心がける。また、学校への問い合わせ等の外部との対応も的確に行うようにする。
- 年度末には卒業、進級関係の事務が多く、重要な書類も多いため、学校業務が円滑に行えるようにしなくてはならない。

